

## 2016 Japan National Team Report ”選手”



報告者	クラブ 琵琶湖ジュニアヨットクラブ 学年 中学3年生 氏名 須田 英実子		
大会名	アジア&オセアニア選手権		
開催地	スリランカ トリンコマリ		
大会期間	2016/5/28~2016/6/5		
セールNo	JPN 3269	最終順位	ゴールド 30位

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
  1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
  2. なるべく詳細に記入して下さい
  3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
  1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
  2. 他国のOP艇を接見して撮影することを禁じます

気温、水温、ウェアについて	気温は、30°C前後、湿度が高く蒸し暑かった。湿度のせいで、洗濯したウェアが乾きにくかった。レース中は雨は降らなかったが夜は降っていたようだ。ウェアは、ラッシュガードのみ。日差しはきつかった。日本では顔しか日焼け止め塗らないが、首にもしっかり塗らないといけなかった。最終日に腕を出して乗ったら2レースで腕が真っ赤になった。砂浜で、12時過ぎからは暑すぎて裸足で歩けないぐらいだった。
海面(湖面)の特徴や風の傾向	陸風。風は強く、1日を除いて8m以上吹いていた。海面の特徴は、波があまり立たず、風の触れが大きかった。シリーズで風向、風速、海面もほぼ変わらなかった。
セッティングで注意したこと	ブームはいつも使っているブームより、細かったので、できるだけスプリットを引いて、セールのしわをできるだけなくすように心がけた。
セーリングで注意したこと	ブローでのシートのトリムに気がつけた。特に、ブローから出たときにスピードを落とさないよう注意した。 普段使っているハルト、船内やガンネルの滑りやすさが違ったので、タックなど動くときに気がつけた。
海上で練習したこと	搬走練習とコース練習。事前練習は、日本チームだけで行った。レース当日は、レース前には、同じフリートで走り合わせを行った。

実際のスベリはどうでしたか？	普段どおりのすべりができた。
スタートは、どうでしたか？	なかなか一列目から出ることができなかった。一列目から出ることができても、スタート30秒後には、一列目から落ちていった。
コース戦略はどうでしたか？	どっちにブローがあるかをみて、どちらに振れるかを考えて自分の艇をしっかりとブローに入れることを意識した。
自分より上位の選手との違いは？	スタートと下りの走り。上位の選手は、序盤失敗しても下りでの順位の上げ方が大きく、3マークでいつもどおりに走るぐらいの順位に持って行っていった。
国内の練習で役立ったこと	強風の練習。特に12月の選考会前の浜名湖でのランニングの練習。
国内の練習で足りなかったこと	自分の実力に近い人とのスタート練習。
印象に残った外国選手は？	シンガポールとアメリカの選手。トルコの7777の選手の下りがすごく速く、1マークから3マークで10艇以上抜いていた。 去年のカタールと比べて、全体的に大柄の選手が多く、背が高い選手では170cmぐらいの選手もいた。
行く前と、行ってからで違ったことはありましたか。	上位で走る楽しさを改めて実感した。
今後の課題と目標は？	OPはこれで終わりだが、他の艇種でもヨットを続けていこうと思った。 また、練習して大きなレースに参加したいと強く感じた。
JODAへの要望	特にありません。
その他	応援してくださった皆様、お世話になった皆様本当にありがとうございました。

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会